



宮間俊樹撮影

おおむら・さと年、山梨大学芸学
教員をしながら、
北里研究所に入所
里研究所長。今年
場周辺の土から着
し、米大手製薬メ
ン」を開発。アフリ
て15年のノーベル

特効薬イベルメク



菌
エバ

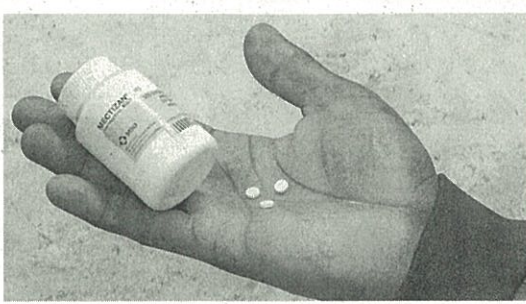
化学的
イベ

投与



感染症対策待ったなし

今年のノーベル医学生理
学賞は、途上国の感染症の
治療に功績があった3人が



熱帯地域の多くの人を救った
イベルメクチン(商品名メク
チザン) MSD提供

選ばれた。この背景には、
2002〜03年の重症急性
呼吸器症候群(SARS)
や昨年のエボラ出血熱の流
行が世界に脅威を与えたよ
うに、感染症対策が喫緊の
課題になっている現実があ
る。グローバル化に伴う人
の移動の活発化や途上国の
都市化は、感染を爆発的に
広げる危険があるからだ。

大村智・北里大特別栄
教授らが特効薬を開発した
オンコセルカ症(河川盲目
症)やリンパ系フィラリア
(象皮病)など17種類の感
染症は「顧みられない熱帯
病(NTD)」と呼ばれ、
世界保健機関(WHO)に
よると149カ国で14億人
以上が感染している。途上
国の貧困層で長く流行し、
国内外の経済格差が広がる
要因にもなっている。

しかし、抗がん剤や生活
習慣病関連の医薬品開発と
比べて、NTDに対応した
薬やワクチンの開発は進ん
でいない。医薬品開発支援
を目的とした公益社団法人
「グローバルヘルス技術振
興基金(東京都)によると、
米国で1995年からの10
年間で承認された約150
0種類の新薬のうち、途上
国向けの感染症の薬は1・
3%しかなかったという。

海外での医療支援経験が
民の基金が投資や買い取り

豊かな長崎大熱帯医学研究
所の山本太郎教授(国際保
健学)は「製薬企業が、も
うけの少ない途上国向けの
医薬品開発を後回しにして
きた。高い技術を持つ日本
も、存在感を発揮できてい
ない」と指摘する。一研究
室で抗生物質の発見から企
業と連携しての特効薬開発
にまでこぎ着けた大村氏は
「異例中の異例で、他には
まねのできない業績」と話
す。

96年にHIV(エイズウ
イルス)感染の有効な治療
法ができて以降、市場原理
に任せず、非営利組織や官
民の基金が投資や買い取り
待する。
【清水健二、須田桃子】

2015.10.08
毎日